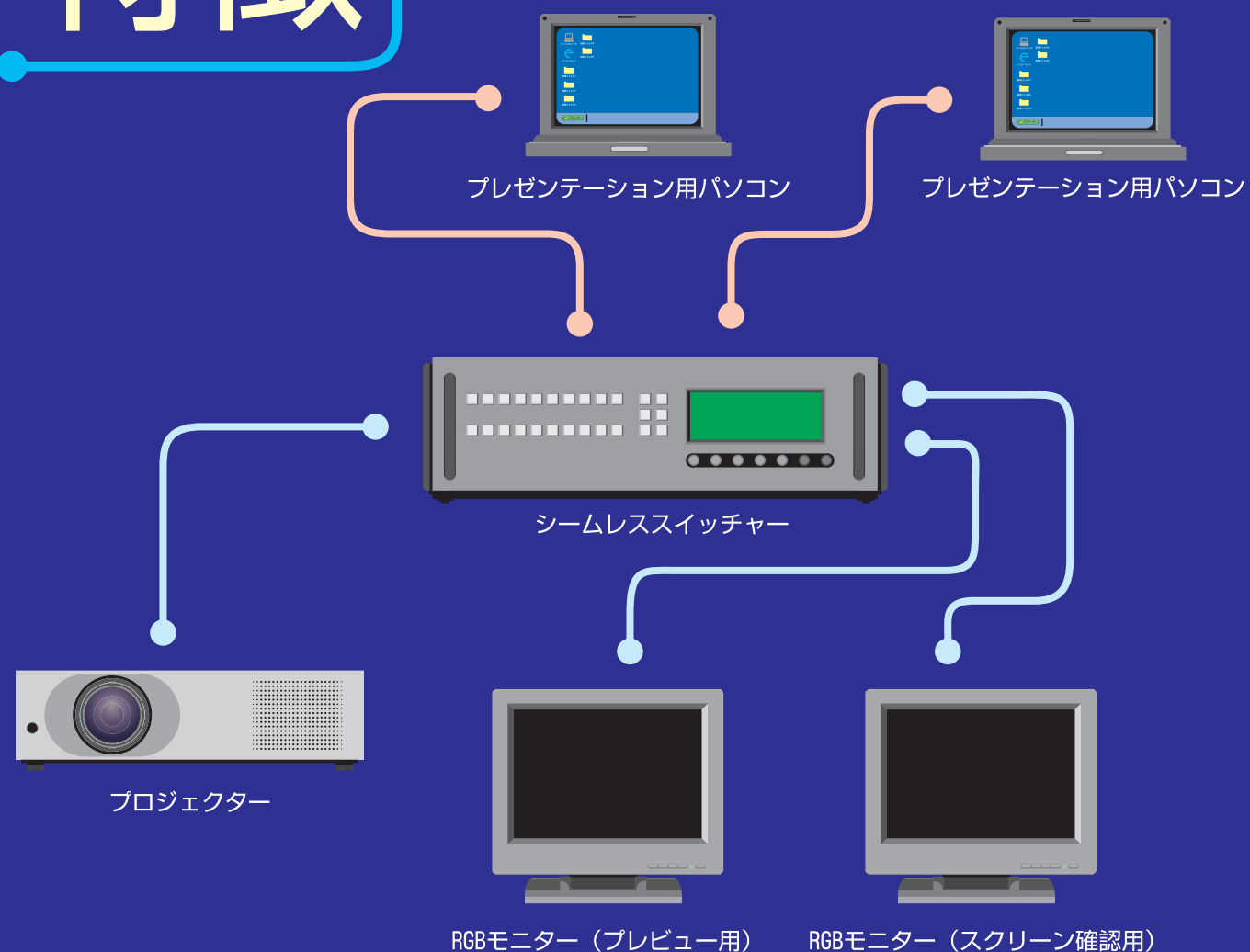


# シームレススイッチャーの 特徴

スムーズにプレゼンテーションを進行する為のシステムです。

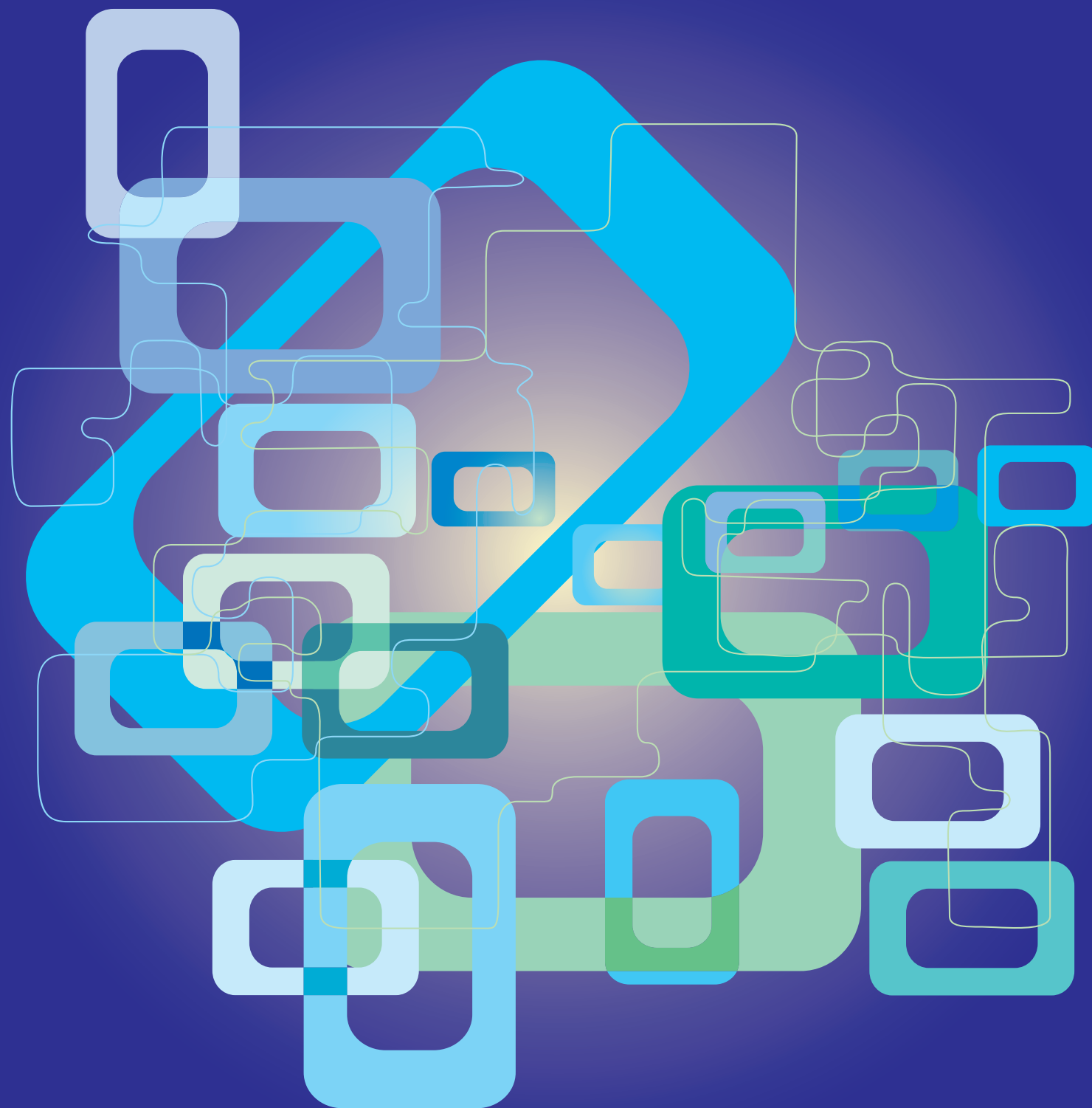


一般のRGBセレクターとは違う最大の特徴は**プレビュー機能**があるということです。シームレススイッチャーにはプログラムとプレビューの2系統のスイッチャーが内蔵されていて、通常プログラム出力がプロジェクターに、プレビュー出力がモニターに接続されています。

プレビューに繋がれたモニターはリハーサルのスクリーンになっています。モニター上で信号の有無、画角調整、画質（明るさ）調整など必要な調整を全てバックグラウンドで処理できます。ここで調整が完了後にカットボタンを押せばパーフェクトな状態で瞬時にスクリーンに映し出すことができます。

# シームレス スイッチャー ガイド

Seamless Switcher Guide



# シームレススイッチャーの優位性

シームレススイッチャーと  
通常のRGBセレクターの違いを現場で起きた事例を元に挙げてみます

## 問題点(事例)

### 画面切替時のノイズ

通常のRGBセレクター： プロジェクターに依存するが、画面が乱れ次の映像がでるまで2～3秒かかる

シームレススイッチャー： 画面は乱れず、瞬時に切替可能  
フェードイン・フェードアウトも可能

### PC1を上映中に、PC2のテストしたい場合

通常のRGBセレクター： 上映中（本番中）は不可能

シームレススイッチャー： プレビュー（バックグラウンド）で確認可能

### 解像度の高いPCを持ち込まれた場合

通常のRGBセレクター： プロジェクターに依存、XGAのプロジェクターの多くはSXGA (1280×960) までシステム全長に高い周波数の信号が通るため、ケーブル、PJ共に相性問題がある可能性あり

シームレススイッチャー： 入力はUXGA (1600×1200) まで確実に対応  
出力解像度は統一されるため、パソコンとプロジェクター間の相性の問題が発生しない

### PCの切替でスクリーン上の画角がずれてしまう

通常のRGBセレクター： 調整できません。

シームレススイッチャー： プレビュー（バックグラウンド）でも事前に調整可能

### 事前に外部出力を確認したPCでも、スリープから復帰したり、フリーズして再起動したときに外部出力の設定が変わってしまった場合

通常のRGBセレクター： 上映中（本番中）は不可能

シームレススイッチャー： プレビュー（バックグラウンド）で確認可能

### 本番前にDVデッキやビデオカメラの入力が急に追加になった場合

通常のRGBセレクター： DVDやビデオカメラ等のビデオ信号が入力できないタイプが大半。対応不可能になることが多い。

シームレススイッチャー： コンポジット/コンポーネント/RGB/Sビデオなど、  
多種の信号に幅広く対応  
又、1台で8入力まで可能なため、多数のPCと接続できます

# シームレススイッチャーによる 基本オペレーティングシステム

## 演台上

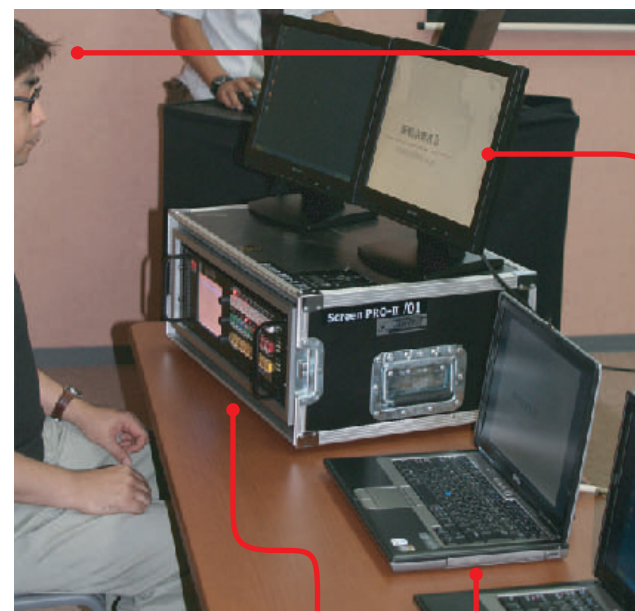


演台用15インチ液晶モニター  
(スクリーンと同じ画面が写ります)

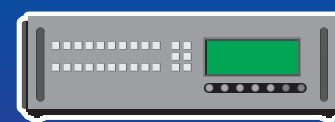


ワイヤレスマウス  
(オペレーター席のPCを遠隔操作します)

## オペレーションブース



PCオペレーター  
(PPT発表を熟知したオペレーターが切替、調整など発表のお手伝いを会場内で行います)



シームレススイッチャー  
(切替や調整をします PC8台接続可)



発表者用PC  
(演台には置きません)



次発表者用PC



次発表者用PC



次発表者用PC



オペレーター用15インチ液晶モニター2台  
(1台はプレビュー、1台はスクリーン確認画面)

発表毎のPCの繋ぎ変えも無く、次々とスムーズに発表できます。  
又、熟知したオペレータが会場で強力にサポートします！